

# カメラ ま ち の 出 来 事 あらかると

広報たかはし

広報たかはし



## 笑顔いっぱい! 夢いっぱい! わくわく子どもフェスタ21開催 (6月17日 栄町商店街)

「わくわく子どもフェスタ21」が開かれ、大勢の親子連れらは、歩行者天国となった商店街で多彩な手づくり遊びコーナーやステージ発表などを楽しみました。

特設ステージでは、ダンスや一輪車など日ごろの練習の成果を披露。また、バルーンアートや竹細工など約30のコーナーが設けられ、子どもたちは楽しい一日を過ごしていました。

市内14の団体でつくる実行委員会が主催。今年で6回目。

## じょうずに手洗いでできるかな? (7月6日 高梁幼稚園)

市内数カ所の幼稚園で、園児と保護者を対象にした親子食品衛生教室「みて・きいて・やってみる!」(高梁食品衛生協会・備中県民局高梁支局主催)が行われました。

協会員らが「ありがとうセッケンマン」と題した紙芝居を披露し、その後の手洗い実習では、親子一緒につめの周りなどを念入りに洗い、手洗いの大切さを再確認していました。



## 熱戦!!好プレーに歓声!(6月25日 川上小学校体育館)

「第36回川上町バレーボール大会」(川上町体育協会バレーボール部主催)が行われました。

川上地域の各公民館から8チームが参加し、2つのリーグに分かれ、約2ヵ月間の練習の成果を発揮し熱戦を繰り広げました。

各リーグの優勝は、地頭チームと領家チーム。



## 笑いがあふれた落語会 (6月11日 有漢生涯学習センター)

本格的な郷土芸能を鑑賞し、地域文化の向上や発展を目的として「第1回 有漢町文化協会 芸能鑑賞会」(同協会主催)が行われました。

落語家の桂文喬さんと笑福亭仁嬌さんによる講演と落語が行われ、2人のユーモアあふれる話に、会場は笑いでいっぱいになりました。





## そばの花に囲まれて(6月18日 松原町松岡)

「春播きそばの花見会」(松原そばの会主催)が行われました。訪れた家族連れらは、約80㎡に白くかれんに咲く花を觀賞しながら、石うすによるそばひきやそば打ちなどの実演を楽しみました。

同会は、「地域にしかない特産物を」と約15年前から、県内では珍しい春に種をまくソバの栽培に取り組んでいます。

## 広めよう男女共同参画の輪

(7月5日 文化交流館)

真庭市で創作家具屋MOMO工房を主宰する元井恵子さん・元井哲治さん夫妻による「男女共同参画社会啓発講演会」が開かれました。

兵庫県西宮市から1ターン。未知の地で、仕事・家事・地域活動など、対等なパートナーとして何事も二人でかかわってきた体験談に、約200人の来場者は熱心に聞き入っていました。



## 21の合唱団が歌声披露

(7月8日 総合文化会館)

「第21回童謡まつりイン高梁」が行われ、幼児から大人までの21グループが美しいハーモニーや演奏を会場いっぱいに響かせました。

今年は高知県安芸市から児童合唱団を招待。また、高梁で生まれた新しい童謡「宇宙のパン屋」も披露されました。



100歳おめでとうございます

(6月29日 成羽病院)

牧野ミキノさん(成羽町成羽)も100歳の誕生日を迎え、市長らが成羽病院を訪問して長寿を祝いました。記念品や花束を手渡され、祝福の言葉をかけられると、ほほ笑んでおられました。長寿の秘訣は「くよくよしないこと」だそうです。

市内で100歳以上の人は、7月7日現在で19人(男性3人、女性16人)



(6月14日 自宅/備中町布賀)

大塚ヨシさん(備中町布賀)が100歳の誕生日を迎え、市長らが自宅を訪問して長寿を祝いました。記念品や花束を手渡されると、しっかりとした口調で感謝の言葉を述べられました。長寿の秘訣は「好き嫌いをせず、腹八分の食事」だそうです。

# 今月の 表紙

みて！みて！つかまえたよ！～自然の中で親子のふれあい～

7月8日(土)、「親子ふれあい教室」(教育委員会備中分室・備中公民館主催)が、上布瀬ヤマメセンター(備中町布瀬)で行われ、親子約40人がニジマスなどのつかみ捕りに挑戦しました。子どもたちは一匹でも多く捕まえようと大はしゃぎ。自然の中で親子のふれあいを通じ、楽しい休日をご過ごしていました。